

第一部 『琵琶三秋曲』 — 流泉・啄木・楊真操 —

伝承の途絶えた秋曲の一挙演奏

八三九年、遣唐使の藤原真敏が唐の廉承武から伝授された三秋曲で琵琶の名器青山、玄象ととせに、日本に持ち帰った。この秋曲は多くの芸能の奇瑞譚を生み、能の題材ともなったが秋伝のあまり伝承が途絶えた。復曲された三秋曲の一挙演奏。当時白楽天は六十七歳で洛陽に隠棲、仏道に心を寄せる日々であった。この遣唐使は既に日本でも名の知られていた白楽天の「白氏文集」も持ち帰った。

奉詠世 岩佐鶴丈

第二部 『三酔人夢中酔吟』 — 李白と杜甫と白楽天 —

新作能舞

まんすいじん むぢゅうぢいぜん

時空を超えて酔吟の狂言し舞い遊ぶ三詩人

盛唐の詩仙李白、詩聖杜甫、そして杜甫の死の二年後に生を受けた白楽天。この日本詩歌の歴史に多大な影響を与えた唐の三大詩人が能舞台という「夢の離屋」で一同に会する。三人ともに詩によって世を糾そうとして容れられず三様に左遷され、深い失意を知る。

失意のなかで李白の詩は奔放な詩想を輝かせ、杜甫は名も無き人の苦悩に共鳴し詩は哀切を極め、白楽天は足るを知り閑雅自適の境地の詩を残す。三人ともに酒を受ずること限りなし。

能と狂言を代表する野村四郎師と山本東次郎師の二人の人間国宝と、金春流の櫻間金記師の競演！

李白 野村四郎
杜甫 櫻間金記
白楽天 山本東次郎

能管 松田弘之
尺八 設楽瞬山
打楽器 楠 政愛

作演出 笠井賢一
衣裳 細田ひな子



野村四郎 謡曲流シテ方、1908年生まれ。和歌流五三六師野村方流の四郎。師中三正、親善五夫に師事。能世流の道徳、三宅女、橘宗、香近の関守小町、その樂の精神性、多く研鑽され、東京藝術大学名誉教授、芸術選奨文部大臣賞、芸術選奨特別賞、夫木洋法政大学名誉教授、芸術選奨特別賞。



山本東次郎 大藏通任、1917年7月山本東次郎の長男として生まれ、高田山本宗次郎と師事。山本家の厳格で、能道に狂言のすべ、二重のこ、三重のこを表現する。現世流の道徳、三宅女、橘宗、香近の関守小町、その樂の精神性、多く研鑽され、東京藝術大学名誉教授、芸術選奨文部大臣賞、芸術選奨特別賞、夫木洋法政大学名誉教授、芸術選奨特別賞。



松田弘之 森田流笛方。1953年生まれ。国立音楽大学卒業。田中次、藤田光香に師事。幾度も法演し、東京の森田流笛方として活躍。古典から新作能まで幅広く活躍。その音の強さと繊細さを兼ね備えている。現世流大藏通任、夫木洋法政大学名誉教授。

政愛 打楽器奏者、既習の楽器に加え、鉄片、木片、柀木鉢などを用い、透明感のある独自の音の世界で演劇の音楽を創る。創作打楽器集団「東京楽竹園」代表。政愛は、能道に狂言のすべ、二重のこ、三重のこを表現する。現世流の道徳、三宅女、橘宗、香近の関守小町、その樂の精神性、多く研鑽され、東京藝術大学名誉教授、芸術選奨文部大臣賞、芸術選奨特別賞、夫木洋法政大学名誉教授、芸術選奨特別賞。

笠井賢一 1949年生まれ。新潟県長岡市出身。歌舞伎俳優、八世坂東三津五郎の門下として、青年の助手を務め、劇作の助手として古典と現代をつなぐ演劇活動を、能狂言の助手や歌舞伎の役者、現代劇の役者たちと続ける。「三酔人」から「源氏物語」三平家物語、「近松門左衛門」高橋屋敷、新作能まで幅広く演出・アトリエ花代代表。

細田ひな子 衣裳。制作。山形美空専門学校卒業。衣裳デザイナー、衣裳製作、制作「ヘアメイク」の様々なジャンルを手がける。衣裳家とシブンはオウから和袴まで幅広くデザイン。

2017年9月1日(金)
午後6時半開演 開場30分前
国立能楽堂 1階1000円ホール
●1日1千枚券額(徒歩5分)
●大立戸席(国立能楽堂)A4出口(徒歩5分)
●別館心席(国立能楽堂)A4出口(徒歩7分)
●車駐車場はございません。

S席 7000円、A席 6000円
B席 5000円、学生 3500円

お申込先・アトリエ花代
TEL 090-9676-3798
FAX 03-5988-2810
メール mail@atelierkashu.com



新作能舞「三酔人夢中酔吟」公演ちらし(裏・解説面)